



くわた 恭子 通信

http://kyoko.moo.jp
zxyoko@yahoo.co.jp [無所属]

発行日 令和元年11月29日
発行者 広島市議会議員
くわた 恭子
〒731-5151 佐伯区河内南2-30-2
TEL929-2930 FAX929-2928
OPEN 9時~12時(月~金)

地域の皆々 お世話になっております 広島市議会議員のくわた恭子です
少し遅くなってしまいましたが、9月議会と平成30年度決算が終了しましたので 報告いたします。
平成30年度決算では、平成30年7月6日に発生した災害についてや
高速5号線 二葉山トンネルの工事の増額、アストラムライン延伸について
質問や討論を行いました。総論として、私の会派は平成30年度一般
会計については承認し可決としました。(承認しない可決、他会派は
賛成です。) 数は少なくとも しっかり意見を述べております。頑張ります。



アストラムライン延伸事業 五月が丘 2駅の利用者3000人の根拠は不明確

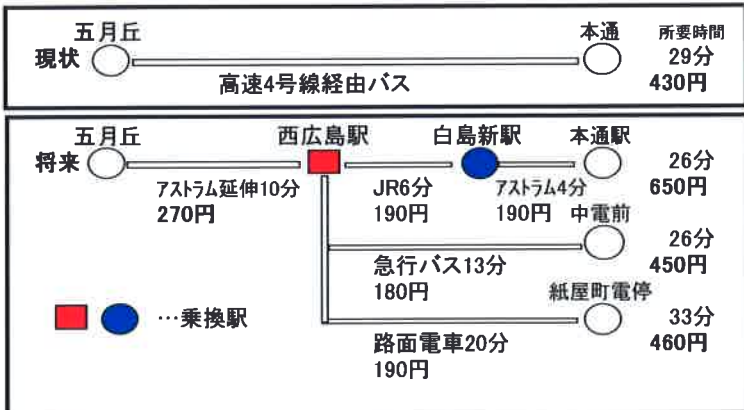
● アストラムライン延伸の経緯

平成16年2月	秋葉市長の諮問機関「公共事業見直し委員会」においていったん中止が決定
平成25年6月	松井市長が西風新都の全体計画を見直し、アストラムライン延伸が西風新都のポテンシャルを飛躍的に向上させると延伸を事業決定
平成27年6月	総工費570億円(市負担290億円)単線構造、全線開通は平成40年代初頭が決定
平成28年3月	延伸の基本設計 測量等の予算7360万円が可決
平成31年2月	延伸ルート広域公園前~JR西広島駅まで1.7km 新駅は6駅/利用者予測10100人
平成31年3月	環境影響評価の調査費8500万円が可決
令和元年7月7日	環境影響評価調査の地元説明がはじまる

● 7月19日、五月が丘小学校で環境影響評価の地元説明会が行われました。100人を超える多くの方が参加され、担当課も驚いていました。工事の安全性や日照や地下、騒音への懸念などの意見はあったものの大きな反対はなく、良いものを作ってほしいとの意見や、五月が丘の悲願と言われた方もいた。駅建設による立ち退きは30軒程度との話も出たが説明会の雰囲気はアストラム延伸に賛成だった。公共交通を新たに作るのだ当然の反応かもしれない。

質 延伸区間の新駅は6駅、五月が丘には2駅を設置。毎日の利用者3000人はどのように試算したのか

答 新規の利用者予測に適した4段階推計法を用い、市内を143ゾーンに区分し、移動目的、移動手段別に何人が移動するののかの詳細なデータを積み上げて利用者を予測



バスより3分早く市中心部に着くパターンだが、料金は示さなかった。この方法で市内に行く人はいない。

もっともらい答弁ですが、3000人の目的別の利用者数は試算していないとの答弁だった。五月が丘の人口は約6800人。1年365日 3000人が利用するには 外部からの利用者が一定数必要。外部からの利用者数ほどの程度だと質問に。試算していないとの答弁だった。今後、人口が急激に増えるわけではない。現在のバス利用者やマイカー利用者がアストラムに乗り換えを促さなければ利用者は確保できない。現在のバス利用者の内、何人が乗り換えるか見込むのを聞くと、アストラムの需要のみの予測で、バスからの乗り換えは試算していないとの答弁だった。五月が丘から西広島駅までのアストラムの運賃は270円と答弁した。現在のバスの金額は知らなかった。コンサルで作った数字のみの答弁だった。

不適切な契約、高速5号線 二葉山トンネル工事費は87億円の増額

高速5号線はJR広島北口と高速1号線温品ジャンクションを結ぶ延長4キロのうち二葉山トンネルが1.8キロを占める。山陽自動車道と都心とのアクセス、広島空港との時短を目的に平成12年整備計画が浮上、当初の完成は2007年度。トンネル上部の住人、牛田地区の反対により事業は凍結。

- 平成24年12月、松井市長になり、県と事業再開に合意。地盤沈下が少ないとするシールド掘削工事公法を採用。
- 平成27年入札、応札は、大林、大成、広成の共同企業体JVのみ●平成28年5月JVと総額200億円で締結
- 平成29年2月JVから契約額増加の見積書が提出。
- 平成30年4月以降 JVは契約に含まれていない項目があるとして契約額の増額を要請●9月トンネル工事開始
- 10月トンネル工事費が増額となることを公表。
- 12月トンネルの掘削機が75m掘った時点で故障する。
- 平成31年5月、増額の契約額が決まらないまま工事再開

認識の違い トンネル工事費
JVの提案は300億円
3回目の提案で200億円に減額
この時、双方に契約に含まれない工事があることは認識していたと第三者委員会は言っている。だが、削除した項目の費用を増額する合意、覚書などは無かった。工事の仕様書には、トンネル本体一式と記述。高速交通は契約変更による増額を拒否、JVは必要な工事が契約に含まれていないと増額を要求。第三者委員会は契約金額の見直しを協議することには、相当な理由があるとし、当初の300億円より少ない287億円で合意したとの報告でした。

事業は更に追加 不適切な契約によりトンネル工事の増額が87億円になるだけではない
更に高速2号線と高速5号線の連結路の整備費167億円を追加、期間中の人件費や資材費の高騰56億の追加も合わせると347億円の事業費追加となると説明。
12月議会に提案される。びっくり
元々、高速2号との連結は費用対効果が低いと実施されてこなかった事業だが、今回高速5号の事業効果を高めるため連結が必要との説明。

談合？ 300億円の事業を200億円で落札、費用対効果の数値は何とか1を上回った。300億円では費用対効果は1を下回る。とにかく事業を期限内に完成させたかった。だまされたのは議会や市民。その責任もはっきりさせないまま、新たな事業を追加し、事業の必要性が高まったとする。どの説明も数字も信用できなくなった。誰も責任を取らない。行政の責任は重い

建設委員会: 自派の当事者。公社とよんで話を聞くとよかったです。

広島市議会自由民主党市民クラブ 不適切な政務活動費を自主返還

政務活動費853万円を使用して発行した広報紙は、議員の顔写真ばかり市政報告とは取れない内容だと市民から税金の無駄使いと住民監査請求が出されていた。住民監査請求を認め、監査は9/20写真や宣伝部分を案分して返還するよう勧告していた。金額は示さなかった返還期日は11/20とされていた。
11/11各派幹事長会議が開かれ、そこで115万2221円を広島市に返還したことが報告された。
返還額は、顔写真や座右の銘の記事の大きさの割合で算出したとの報告。広島市もこの返還額を妥当なものとしこの案件は終了した。市当局は変換金額を算出しないまま自主返還された金額が正当とされた。少しおかしくないか市の算定額とぴったり一緒という事は無いだろう。自主返済なら本来は全額。市の算定は出してほしい。

ローマ教皇を迎える会に出席

お天気が心配された11/24日曜日、私たち議員は16時半市役所を大型バスで出発平和公園に向かう。迎える会は18時40分～暗くなった会場にスポットが当たり時間通り教皇が車から降りられる。会場から拍手が起きる。記帳、被爆者への挨拶、献花と進む。被爆者の証言があった。14歳で被爆した彼女はよどみなく自身の体験を立派に語った。中学生で被爆した私の父と重なった。いよいよ、教皇の平和メッセージ。正直字幕がよく見えず、内容はわからなかったが翌日の報道で核廃絶を明言されたことを知る知事や市長は、メッセージをどうい受取っただろうか。2度と体験することない貴重な時間だった。